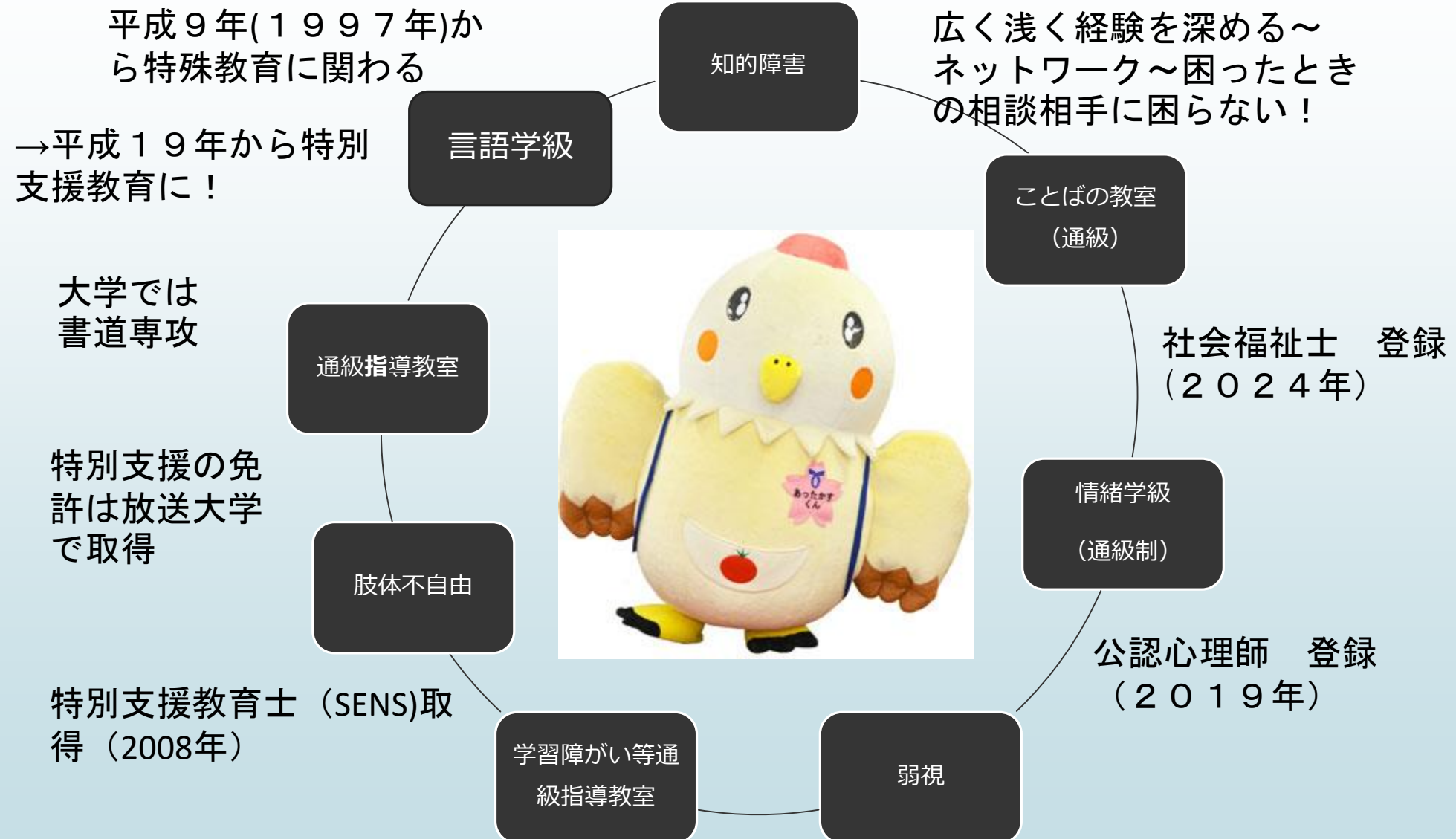


令和6年度
通級による指導
(LD,ADHD)情報交流会
～事例紹介～

令和7年1月17日

鷹栖町立北野小学校 通級指導教室「つくし」担当 山川昌子

0, 「山川昌子」について





1，鷹栖北野小学校について

全校児童 約 1 8 0 名

通常学級 6 学級 特別支援学級 5 学級（2 7 名）

通級指導教室 1 教室(自校 1 0 名 他校 4 名)

鷹栖町の通級指導教室として開設され、担当者 1 名配置

担当者が決まった曜日に他校を訪問して指導

自校は、毎週時間割を調整して指導時間を決めている

他校は、曜日と時間を固定して指導を行っている

2, 事例 Aさん(現在 6 年生)

- 通級の経緯(3年生の1学期)・・・Coとしての対応
担任の先生の気づき～学力不振、学習態度が悪い
理解できているようだが、テストでは出来ていない
やる気がないのか、姿勢が崩れがちで課題に取り組まないことが多い
ノートを見られるのを嫌がる 文字が乱雑
作文や日記は書くが、ほとんどひらがなで間違いも多い
道徳が好き プリントに自分の意見や考えをびっしりと書く
強い口調で話し、男の子からも怒らせると怖い存在



(1) 3年生のとき

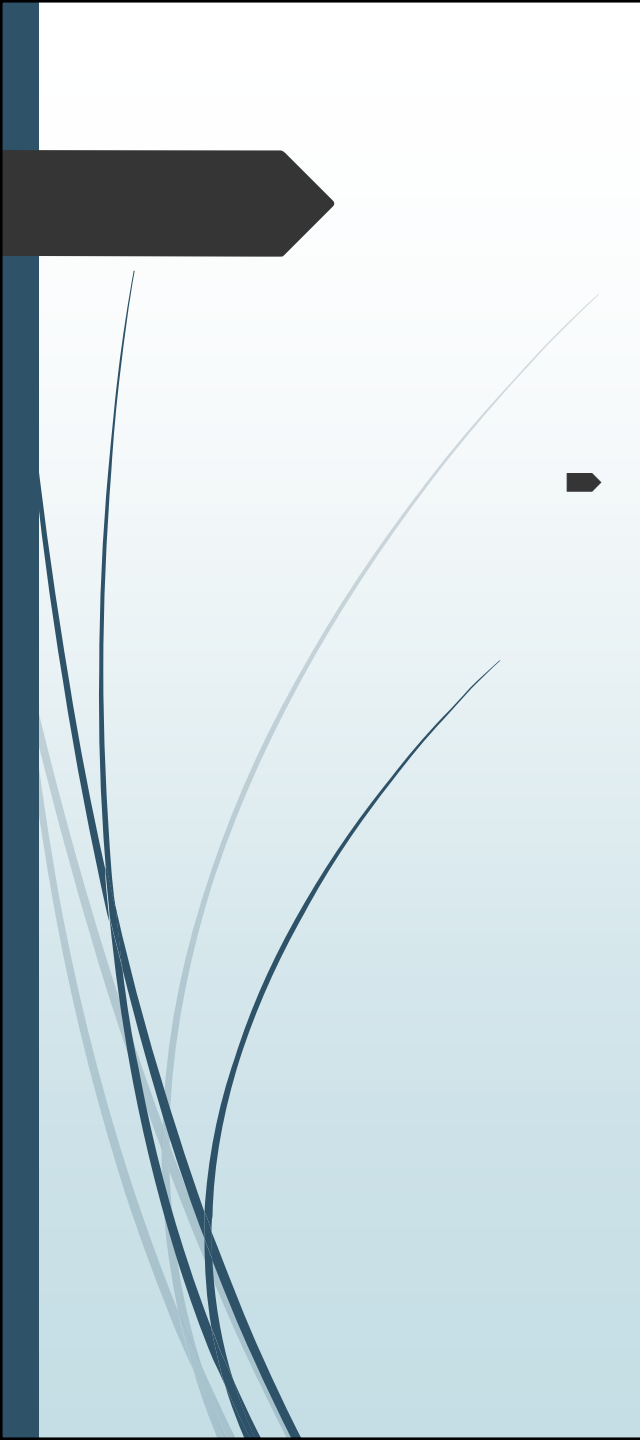
保護者面談

「姉兄よりもすなおで、家では何も困っていない」

アセスメントをすることの許可を得る（WISC-4を中心に）

WISC-4実施

STRAW-Rの一部実施

- 
- 「漢字・書字の苦手さ」を理由に通級指導をお試しで実施

担当者への過度な甘え(かまってほしい)

気分のムラが大きく、課題に取り組めないことも

やりたくない課題や気分が乗らないときには黙り込む



漢字・書字のためのトレーニング（形、点つなぎ、コグトレなど）は
なかなか進まなかった

気持ちを満たすこと中心の通級指導



(2) 4年生のとき

■ 4年生から正式に通級

国語・算数を個別指導に(特別支援学級の協力)

通常学級・・・音の刺激が多く集中できない

意欲が持てない 学習に向かえない

支援学級・・・静かな環境で

一人一人の注意を引く言葉かけ

発表や活躍の場

通級指導・・・書字へのアプローチ中心に

■ 専門機関への相談

近隣の大学の先生による教育相談(4年生夏)

Aさんの困難さが何か明らかに～担任、保護者の理解に

医療機関の受診予約(1年近い待ち時間)



(3) 5年生のとき

- 5年生（担当 山川）

国語・算数も通常学級で受けるように

関係づくり、小集団でのコミュニケーション活動

自分を振り返ることができるように

「やろうと思ったとき声をかけられたら・・・」

「算数の時間に・・・」

カタカナの半分くらいが想起できない

ひらがなでも表記を迷うものも

■ 新たな課題が . . .

アルファベットで読めないものがある！！！！

タブレットで入力が困難

ローマ字打ちでやりたいが . . .

■ ローマ字（大文字と小文字）を覚えよう！と冬休みの課題に！

→取り組むが成果が出ず . . .

3学期タイピングに取り組む パズルでも練習

ローマ字打ちを通して、ひらがなの拗音表記も定着

(余談) 混ぜるな危険！

- ひらがなをきちんと習得していないときに、カタカナも覚えさせようとすると・・・！
- アルファベットの大文字と小文字も混ぜると混乱してしまう！
- ディスレクシアの困難さの見取りや支援は難しい！ほんとに、文字と音がくっつかない……。文字を覚えることにすごい労力を使ってる……。
- 特にLMN(エル・エム・エヌ) は、覚えにくいアルファベット3兄弟！
→その子の生活の中で実感できる物と結びつける

(余談)タイピングについて

- (私が) おすすめのタイピングソフト
「スクールタイピング」(学校教育情報処理研究会)
あいうえおじゅんばんん がぎぐげごじゅんばんん
アルファベットじゅんばんん
点数化してくれるので、モチベーションが持続！
- ゲーム要素のある楽しいタイピングを楽しめるようになるために、(なかなか覚えられない子は) まず順番で！が効果○

(4) そして6年生

- 「自分を見つめる目」が育つことで、自分が出来ないことや苦手なことが受け入れられるように

九九で覚えてないところが・・・

簡単な足し算の答えがぱっと出てこない・・・

時計の読み方で・・・

am , pmってなんのこと？

→学習態度のムラ→知識・理解のムラに！

わからなかったら聞けばいい！（聞ける人がいる）が大事



(5) 担任との連携について

- 3, 4年生の担任
 - Aさんとの関わり方を共有
 - 保護者との懇談には同席で情報共有
 - Aさんの困難さがどこにあるのか一緒に探る日々
- 5, 6年生の担任
 - AさんへのNGな関わり方を事前に伝えてスタート
 - 大目に見てもらいながらAさんとの信頼関係を構築
 - 「やらない」ではなく「出来ない」を理解してもらえるように

(6) 中学校進学にむけて

- 進学先の中学校に通級指導教室は設置されていない
- 本人・保護者ともに、通常学級を希望
- 中学校で進学に伴う教育相談を受ける
中学校の環境を知り、Coと顔見知りに
- 引き継ぎで今までの経過、医療機関からの情報を伝える
心配していること～あまり深く考えずに答えを出してしまう
物の整理整頓、提出物の管理 恥ずかしくて発表が苦手

3, 事例を通して伝えたいこと

- どこに問題があるのか？なかなかはっきりしないケースもある。
→わかるところから焦らずに
- 取り組んだらいいと思われる課題が見えていても取り組めないときもある。
→子どもの気持ち、困っていることに気がついていないのか
- 何をやるにも信頼関係が重要！
→「かまってほしい」児童は増加しているかも？(家庭状況、子育て事情)
- WISCだけでは見えてこない困難さを見落とさない
→担任や支援員の先生の見取りは的を得ている！
- 関係機関につなぐ努力を！
→苦手さは変わらなくても、本人や周囲が理解することで生きやすさに。

(余談) 通級指導のタイプ

- 言語障がい通級指導教室(ことばの教室)からの流れ
～子どもに寄り添う支援、子どもの自発性を大事にする支援、
関わりや遊びの中でその子にとって必要な力を高めていく支援
- 学習障がい等通級指導教室（学びの教室）からの流れ
～アセスメントに基づきつきたい力を伸ばす支援、課題に向き合い出来る自信
を育てる支援

～児童に応じた柔軟な対応 障がい種では決められない児童のニーズ
信頼関係の構築は不可欠

4, 終わりに

ある日、6年教室で

Aさん 「山川先生は、私の友達みたいなもんだから。」

ともだち「え？そんなわけないでしょ、先生でしょ？」

Aさん 「いや、友達なんだって。山川先生は先生って感じじゃないんだ。」

児童と保護者と担当者

横並びの関係でありたいと思う私にとっては

ちょっとうれしいことばでした

♡通級担当者は1対1で関わる贅沢な時間を味わえる素敵なポジションです♡